

訪問看護師・訪問介護職員の皆さん

HIV 感染者・エイズ患者の在宅医療・介護 についての研修を受けてみませんか

治療法が進歩して長期生存が可能になり、HIV 感染者・エイズ患者の高齢化が進んでいます。その結果、在宅での医療・介護を必要とする HIV 感染者・エイズ患者が増えてきました。それらの患者さんが安心して医療・介護を受けられるよう、エイズ治療中核拠点病院である高知大学医学部附属病院で、訪問看護を行う看護師等に対して実地研修を行っています。

受講対象者：訪問看護師、訪問介護職員、介護支援専門員（ケアマネージャー）等

1 回の研修人数：1 名（県内では 5 名までは参加可能です）

研修期間 1：1 日

*具体的な日程に関しては相談して決めます

研修内容：HIV 感染症/エイズに関する講義、外来診療現場の見学、外来診療の実習、カンファレンス等への参加等

研修費：無料

研修を終了した訪問看護師さんの感想

「HIV 感染症の治療を受けている患者さんと接することで、患者さんとの関わり方を学ぶことができました。」

「HIV 感染症の正しい知識を得ることで、在宅での今後の課題と訪問看護師の役割をみつけることができました」

申し込み先

高知県健康政策部健康対策課 感染症担当 088-823-9677

研修希望日の 2 ヶ月前までに連絡してください。

実地研修に関することでの問い合わせ

高知大学医学部附属病院 総合診療部 HIV 担当看護師

088-866-5811（代）